

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第5号

10月28日(水)に行われた体育大会。今年度初めて全学年が一緒になって取り組んだ学校行事でした。今回は、その体育大会の中で1・3年生の皆さんが見付けてくれた、友達や仲間のすばらしい姿です。

【友達一人一人に対して】

- 私が開会式のアナウンスの後、すぐに走り幅跳びの招集場所に行かなきゃいけないときに、Aさんがジャージを席までもって行ってくれた。(3年生徒から)
- (私と友だちが)2人とも100m走が4位で、みんなのところに行くのが恥ずかしいなと思っているときに、Bさんが「一緒に席に帰ろう」と言ってくれた。(3年生徒から)
- Cさんが、1000mリレーでアンカーを務めて、みんなを1位に導いてくれた。(3年生徒から)
- 私が競技を終えて座席に戻ったとき、Dさんが「お疲れ!」と声をかけてくれた。(1年生徒から)
- Eさんが100m走で転んでしまったけど、立ち上がって最後まで走っていた。(1年生徒から)
- Fさんが、放送の係をきちんとやっていて、放送の声は大きな声でとても聞き取りやすかった。(1年生徒から)

【クラス・係生徒・生徒会・同じ競技のメンバーに対して】

- 器具係の人たちが、重い器具を一生懸命、種目ごとに出してくれていた。(1年生徒から)
- すべての委員会の人たちが、生徒代表として、体育大会の準備や片付けを熱心にやっていた。(1年生徒から)
- 先生方が体育大会を盛り上げるために、一生懸命走ってくれた。(1年生徒から)
- 生徒会の人たちが、みんなが楽しめるような企画をしてくれたり、本番までたくさん準備をしてくれたりした。(3年生徒から)
- 最後の体育大会を、このクラスのメンバーで優勝できてよかった。ありがとう!(3年生徒から)
- 同じ400mリレーのメンバーが、練習からぼろ負けしていたのに、最後まであきらめずに一緒に走ってくれたこと。(3年生徒から)

皆さんの文章を読んでいて気が付いたのは、各競技で1位を取った人たちのことを書いた文章がそれほど多くなかったということです。ほとんどは、自分を助けてくれた人、競技や仕事にひたむきに取り組んでいた人についての文章でした。

確かに、競技で良い結果を出すことは、すばらしいことですし、他の人に感動を与えることでもあります。でも、皆さんの文章を見て、皆さんが競技の結果以上に、何を大切にしていたのかが理解できたような気がしました。

なるほど……。この体育大会が盛り上がり、楽しい行事になったのは、そういうことだったんですね。